

池田町の子どもたちの健やかな成長をめざして
～R5全国学力・学習状況調査結果から～

池田町教育委員会

1 池田町の学力についての全体的な傾向

国語

<小学校>

- ◎目的に応じて必要な情報を見つけたり、情報と情報を結びつけるなど情報の扱い方に関する事項の正答率が高い。
- ◎文章を読んで理解する力（読解力）が高い。
- ◆図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表すことができるかをみる設問の正答率が低い。（全国や県の正答率よりは高い。）

<中学校>

- ◎情報と情報との関係について正しく理解しているかを問う問題の正答率が高い。
- ◎文脈に即して漢字を正しく書くことが出来ている。
- ◎古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容をとらえることができている。
- ◆文章の要旨を把握することにやや課題がある。

算数・数学

<小学校>

- ◎表やグラフからわかることを読み取る能力が高い。
- ◎数と計算に関する設問の正答率が概ね高い。
- ◆割合について理解しているかどうかをみる設問の正答率が低い。
- ◆正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる設問の正答率が低い。

<中学校>

- ◎関数における直線のグラフを事象に即して解釈する設問の正答率が高い。
- ◎図形の性質を考察する際、三角形の合同をもとにし、同位角または錯角が等しいことを示すことで証明する設問の正答率が高い。
- ◆反比例の意味の理解に課題のある生徒が多い。
- ◆データの分布の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある生徒が多い。

英語

<中学校>

- ◎情報を正確に聞き取ることや説明の要点をとらえることのできる生徒が多い。
- ◎情報を正確に読み取ることができる生徒が多い。
- ◆文と文との関係を正確に読み取り、空所に適切な語句を入れる問題に課題がみられた。
- ◆与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして疑問文を正確に書くことに課題がみられる。

2 児童生徒質問紙による生活や学習の傾向

<小学校・中学校で共通していること>

ほとんどの児童生徒が

- ◎毎日同じくらいの時刻に寝て、起きている。
- ◎毎日朝食を食べている。

- ◎地域の行事に参加している。
- ◎先生は、よいところを認めてくれていると思っている。
- ◎先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思っている。

<小学校>

- ◎ほぼ全員が将来の夢や目標を持っている。
 - ・児童の家庭学習時間については
 - ◆平日：30分から1時間の児童が多く、全国よりやや低い。
 - ◎休日：1時間から3時間の児童が大半で、全国よりやや高い。
- ◎1日（平日）当たり30分以上読書をしている児童は50%で全国より高い。
- ◎週に1～3回以上新聞を読んでいる児童は全国より高い。
- ◎週3回以上授業中にタブレットを使用している児童の割合が全国と比べると高い。

<中学校>

- ◎普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくあると答える生徒の割合が高い。
- ◆生徒の家庭学習時間が平日、休日ともに全国より低い。
 - 平日：30分以上学習する生徒約38%。（全国約80%）
 - 休日：1時間以上学習する生徒が約13%。（全国約65%）
- ◎週に1回以上新聞を読んでいる生徒の割合が非常に高い。
- ◎すべての生徒が自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫している。
- ◎地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う生徒の割合が非常に高い。

3 これからの取組の方向性

現在の学校教育に求められていることは、他の人との対話や協働を大切にしながらの児童生徒の主体的な学びと、一人ひとりの学力や特性に合わせた個別最適な学びの両面です。この実現が学力に関わる課題解決にもつながっていくと考えています。

各学校では、教職員の授業力向上に努め、協同的学びを取り入れて児童生徒の主体的な学びを実現するとともに、一人一台のタブレットを活用した教育のDX化を推進し、個の学びも深めていきます。そのために町教育委員会ではさらなる教育環境の改善・整備等の支援に力を入れていきます。

<教育研究の推進>

小中学校が連携し、「協同的学び」の研究を深め、「主体的・対話的で深い学び」が日常的な学びとなるようにさらに推進していきます。また、中学校では、高校につながる探究的な学びを総合的な学習の時間を中心に取り入れていきます。

<きめ細やかな支援体制の充実>

小規模の利点を生かし、一人ひとりの個性や特性に合わせた丁寧できめ細やかな支援を進めてまいります。さらに合理的配慮等の特別な支援が必要な場合は、外部機関や専門家とも相談し、チームでの支援体制を充実します。

<ICTの活用>

GIGAスクール事業により整備した1人1台のタブレット端末を活用して、授業では主要教科のデジタル教科書を導入し、学校でも家庭でも学習しやすい環境を整備します。さらに授業での活用はもとより、毎日持ち帰ることにより、連絡帳や日記、欠席連絡等のデジタル化、欠席時や緊急時のオンライン授業などを進めていきます。

4 家庭の皆様へのお願い

<望ましい生活習慣の定着>

池田町の児童生徒のほとんどは規則正しい生活を送っていると思われます。各ご家庭や地域の皆様が丁寧にお子様を見ていただいているからだと考えています。

しかし、ゲームや動画視聴、SNSなどの携帯端末等の長時間使用による生活習慣の乱れが一部の児童生徒に見られます。お子様のこれからの成長に大きく関わってくると考えられますので、今後も時間の管理も含めた望ましい生活習慣の定着に向けた取組をお願いします。

※教育DX（デジタル・トランスフォーメーション）とは、「学校が、デジタル技術を活用して、カリキュラムや学習のあり方を革新するとともに、教職員の業務や組織、プロセス、学校文化を革新し、時代に対応した教育を確立すること」です。